



どこのお城かわかりますか？  
正解は、「百名城めぐり」を読んでください！

東京オリンピックが始まりました。

毎日日本のメダルラッシュにとてもうれしく、また同じ日本人として誇らしくも思います。

コロナ渦での大会で、選手自身の集中力を持続させることがいつも以上に大変だと勝手に思い込んでいます。

その中で最高の結果を導く選手もいれば、大方の予想ではメダル間違いなしとの前評判どおりにいかなかった選手もいます。

日本の水泳選手の中に、海外も復活を驚いた池江選手がいます。

2年前の2月に白血病を公表する前は、東京オリンピックの期待の星とされていました。闘病中は水泳競技の継続さえ危ぶまれていたのに、プールに帰ってきてから1年とちょっとでオリンピック出場の快挙です。池江選手の泳ぎに元気をもらった人も多かったのではないのでしょうか。

実は彼女、豊島区にゆかりがあるのです。淑徳巣鴨高校に通っていたころ区庁舎にも来てくれて元気な笑顔を見せてくれたこともあったのです。東京オリンピックではメダル獲得はできませんでしたが、今後の活躍を祈るばかりです。

がんばれ池江！がんばれ日本！

(館長)



じぞうくん

巣鴨図書館のSDGsのイベントは、色々あって楽しそう(\*^\_^\*)

イラスト作 S

## すがもがーでん 夏

ゴーヤとすいかで暑さを吹き飛ばそう！



### 編集後記

この夏、初めてこだまスイカを育てています。受粉から始まり、日々の成長を皆で見守っていました。

が、ある日スイカが姿を消してしまい😞とても哀しい気持ちになりました。

がーでんの植物は、来館時に眺めて成長を喜び、楽しんでくださる皆さんのものです。

どうかお一人で独占してしまわれぬよう、心からお願いいたします。(M)

## 百名城めぐり Part2

今回は激動のお城、松江城についてお話します。松江城は、島根県にある現存12天守の1つですが国宝→重文→国宝と変遷しました。

65年ぶりに再度国宝に認定されたのが2016年。当時ニュースにもなりましたので、覚えている方もいらっしゃるかもしれません。

もともと、松江城は戦前までは国宝でした。しかし戦後、文化財保護法の改正で築城時期が分からないお城は国宝指定から外れることになり、明記された証文がなかった松江城は重要文化財に格下げされてしまいました。

島根県民にとっては寝耳に水だったでしょう。

「何故うちのお城だけ格下げ?!」

それからは築城時期が分かることが島根県の悲願でした。

その後、松江城内の神社から偶然祈禱札(きそうふだ)が見つかりましたが、お城の祈禱札なのかは不明でした。

そこから執念の捜索が始まりました。

城内の柱1本1本の釘の跡まで綿密に調査し、なんと柱の釘跡に祈禱札がピタリとはまり、これを証拠として国に申請し3年後、国宝に復活しました。

私が最初に松江城を訪れたのは、2012年祈禱札発見の直後です。「松江城を国宝に！」の幟がたくさん立っていて、熱い願いが伝わりました。

次に国宝になった後、2018年に登城した時には文科省の「国宝指定書」が誇らしげに正面に飾ってあり、地元島根県民がいかにお城を大切にしているか分かりました。

そして、お城自体も見事な作りです。

天守は、地下階と地上5階から成り、附櫓(つけやぐら)が天守への入口となっています。

姫路城のような派手さはありませんが、どっしりと落ち着いた外観で、歴史情緒を感じさせます。

天守最上階(5階)は、360度の眺望で松江の城下を一望でき、宍道湖も見渡せます。

地下階には、井戸が残っており、天守内に井戸が現存する唯一のお城としても特別です。

また外曲輪から本丸に向かう階段に、ハートの石垣があるので探してみたいかがでしょう。

大手門から、松江城下のお堀をめぐる遊覧船が出ていて、ガイドツアーの説明を聞きながら、のんびり城下を眺めるのも楽しいです。

### おすすめ本

『城を巡るのがおもしろくなる本』  
今泉慎一／著 扶桑社 (521 イ)



## 食いしん坊司書の部屋



今回のゲストは、  
4月に着任された  
新館長！

今回は、初めて図書館の仕事をされる新館長の眼に映った「**図書館の仕事**」について聞いてみました。

「**サービスの内容が細かく幅広い**」ことに、驚かれたとのこと。そうなんです。図書館の仕事は、「本を**貸す**」だけではありません。

「情報と人が出会う場所」として、刺激に満ちた空間であることを目標に、**楽鴨図書館も（コロナ禍でもできる）展示やイベントに取り組んでいます**。そこに、気づいていただいてうれしいです。そして、これから強化していきたいことで、SDGsを挙げてくださっているので、館長の元、**楽鴨図書館から考えるSDGs**、たくさん発信していきますので、ご期待ください！

プライベートでは、車いじり・磯釣り・DIYが趣味とのこと。DIYの腕前は、プロ顔負けで、早速「すがもがーでん」の素敵な看板を作ってくださいました。近々お披露目予定ですので、楽しみにしててください。

最後に、恒例「好きな食べ物は？」の問いには、「お酒のあてなら何でも！特に馬刺し」というお答え。この状況下、歓迎会もできていない私たち…

コロナが落ち着き、図書館の色々な行事、歓迎会もできる日が来たら、馬刺しでウェルカムパーティーを(\*^^\*)

### 気になっている本

館長若い!!!

『転生したらスライムだった件』シリーズ

伏瀬／著 みつば／イラスト  
マイクロマガジン社（Yフセ）

## じぞうくんのそばくな疑問



初めまして、ぼくはじぞう。  
心うつりゆく  
ちょっとした疑問を  
ここでつぶやいていくよ。



暑い中図書館に来たかっばくん。じぞうくんに夏におすすめの本を紹介してもらいたいみたいですよ。

**かっば** こんにちは。毎日暑くて僕が住んでる川の水もお湯になっちゃって…。何か涼しい気分になれる本ないですか？  
**じぞう** それは大変だ。涼しい気分になると言えば怖い話だよな。怖い話は大丈夫かな？

**かっば** はい。ぼくも妖怪のはしくれ。怖い話は大好きです。  
**じぞう** それならまずはとっても怖いやつ。おススメしたいのは貴志祐介さんの「黒い家」だよ。保険の査定業務をする主人公がある日、顧客から呼び出されて家に行ってみると子どもの首つり死体を発見してしまうんだ。その後、保険金の支払い請求をしてきた顧客の様子に不信感を持った主人公は調査を開始するんだけど、そこから恐ろしい事件に巻き込まれていくんだ。心霊ものじゃなく人間の怖さを思いっきり味わえる本だよ。それからもう1冊は小野不由美さんの「営繕かるかや怪異譚」。こっちは家にまつわる怪異を扱った話なんだけど、霊を祓うとかではなく、家を修繕することで怪奇現象をおさめていく連作短編だよ。少し背中がぞくぞくするくらいだから気軽に読めるんじゃないかな。

**かっば** ありがとう！さっそく借りて帰ってぞくぞくするぞ～。

### じぞうくんのおすすめ本はこちら

- ①『黒い家』 貴志祐介／著 角川文庫 (Bキ)
- ②『営繕かるかや怪異譚』 小野不由美／著 KADOKAWA (オノ・B才)

## じぞうのじもと行脚

### <トキワ荘へ行ってきました>

今回の目的地は、南長崎。7月上旬、開館一周年記念イベント開催中の『トキワ荘マンガミュージアム』にお邪魔しました。出発は、西武池袋線の東長崎駅。トキワ荘といえば椎名町駅ですが、ミュージアムの最寄り駅は、実は隣の東長崎駅です（実際の跡地より西寄りの公園内に建てられているため）。まずは改札口前の『レオ&ライア』像にご挨拶。南口の階段を降りると、右手に小さなトキワ荘が（なんと交番）。駅前の道を池袋方向に進み、左に踏切が見えたらその角を右折。五郎久保稲荷神社の前を通り、バス通りの角（目印は大きな石碑）を左折。駅から徒歩10分ほどで到着です。

子供たちの書いた短冊満載の七夕飾りに迎えられ、トキワ荘の玄関へ。現在の企画展は、『トキワ荘と手塚治虫展—ジャングル大帝の頃—』（9/5まで）。まずは2階の常設展示から。階段を上がると、正面にトイレ。その隣に共同炊事場。各部屋も当時の様子を忠実に再現しているとのこと。建物の外観だけでなく、内部の再現度もかなりのものです。1階に降り、マンガラウンジで『手塚治虫伝 アニメ篇』（宝塚市立手塚治虫記念館作成）を鑑賞後、企画展示室へ。ここでは、手塚治虫がトキワ荘時代に描いた作品を中心に、各作品につき2～6点の原稿が展示されています。今回の目玉は、タイトルの通り『ジャングル大帝』最終回の直筆原稿。手塚先生はもちろん、背景の吹雪の点々を泣きながら打っていたという臨時アシスタントの安孫子青年（藤子不二夫<sup>④</sup>先生）にも思いを馳せつつ、じっくりと鑑賞させていただきました。

ミュージアムを出た後は、通り沿いに『松葉』『トキワ荘跡地』『紫雲荘』『トキワ荘マンガステーション』『トキワ荘通りお休み処』のゴールデンコースを梯子し、本日の終点、椎名町駅に到着。大変「ンマーイ！」な半日散歩でした。

### ともぼん お供本

旅のお供に  
ふさわしい図書館  
蔵書をご紹介します

『トキワ荘マンガミュージアム—物語のはじまり—』 平凡社 (K0726)

『芸術新潮 2020年11月号』 新潮社 (K0726)  
(2冊とも2階『楽鴨特色』にあります)